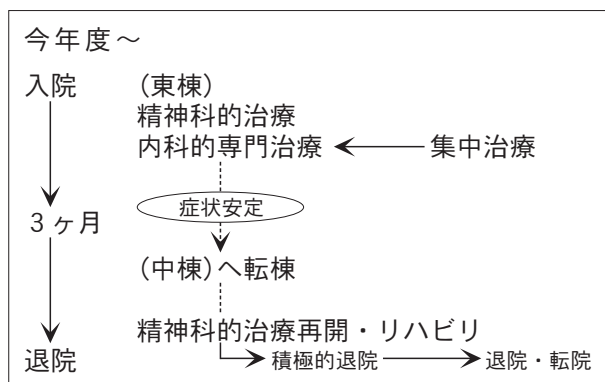
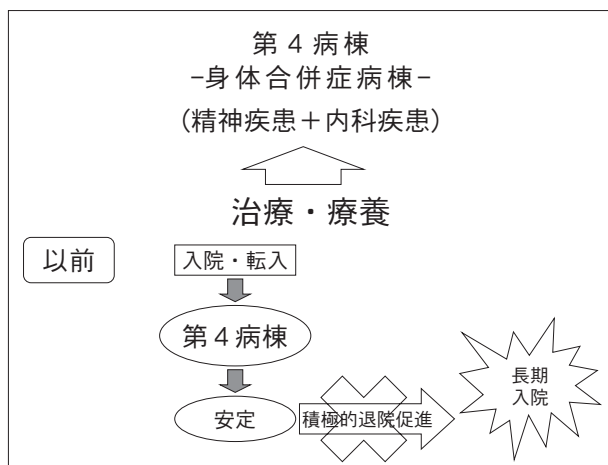


4. 身体合併症病棟の機能改善における現状報告

戸田病院 第4病棟 原田 一美 五領田佳代子



実施

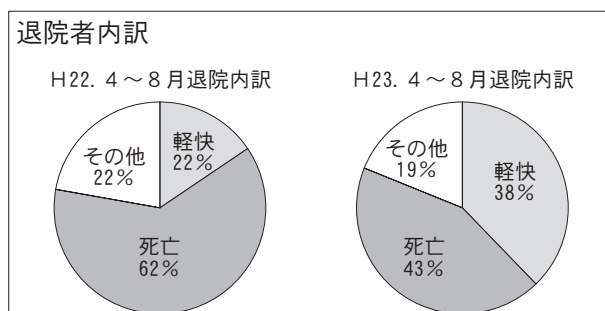
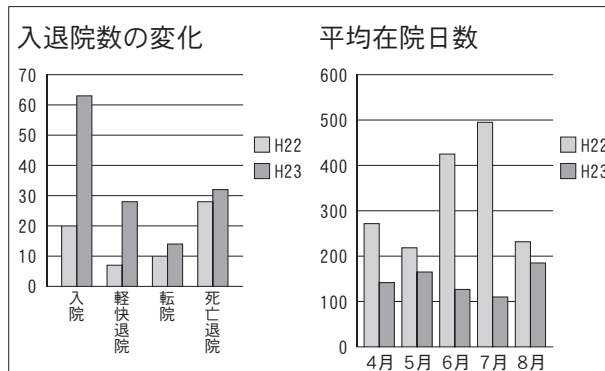
- ・ 東・中棟の二分化
- ・ OT介入
- ・ ST介入
- ・ PSW、家族との連携
- ・ 褥瘡発生予防
- ・ クリニカルパスの導入と開始
- ・ 退院前訪問指導の実施
- ・ 担当医師との連携

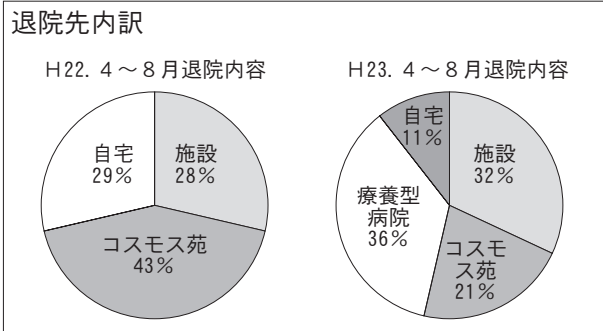
研究方法

- ・ 退院調整、社会資源についての勉強会の企画・実施
- ・ 中棟担当スタッフ、OT中心での病棟レクリエーションの企画・実施
- ・ 受け持ち看護師による担当患者のADLの評価、看護計画の立案・実施・評価・修正
- ・ パスカンファレンスによる各科メディカルとの連携・情報の共有化を図る
- ・ 介護保険の積極的な取得

研究対象・研究期間・データ分析法

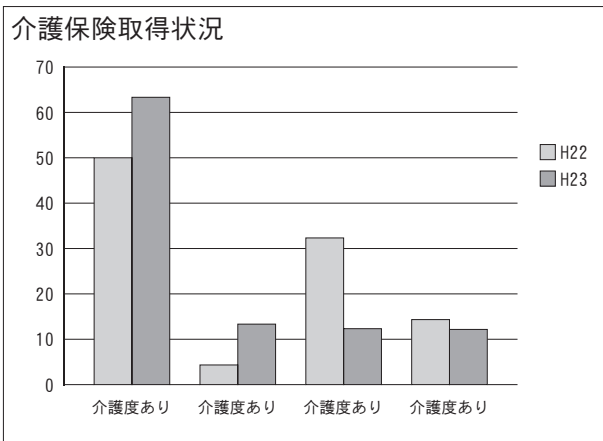
- ・ 身体合併症病棟に入院中の患者64名
- ・ 平成23年5月1日～8月31日
- ・ 病棟全体の特徴
- ・ 病棟内での退院促進への取り組みへの評価・修正
- ・ 前年度当病棟より退院した患者のうち軽快退院(自宅、療養型病院、施設等)した患者数との比較検討
- ・ 前年度との介護保険取得状況の比較





参考文献

- ・精神科長期入院患者の退院に関連する国内看護研究の検討—新障害者プラン後に焦点を当てて—
葛谷玲子 石川かおり 丸茂さつき
岐阜県立看護大学紀要2011第11巻1号
 - ・精神科長期入院患者への退院支援 近藤浩子
 - ・精神科退院パスの導入と展開 小林啓之
- <http://www.e-rapport.jp/clinicalpath/sample14/01.html>



結果・考察

- ・病棟の機能を二分化することで退院までの道筋を明確にできるようになった
- ・病棟PSWの配置により積極的な退院調整へとつながった
- ・介護保険取得については入院時の情報収集と、未取得者の取得に向けた家族介入など積極的に取り組んでいる
- ・クリニカルパスの導入により、患者やスタッフに対しても退院への意識付けを行うことができた

